

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

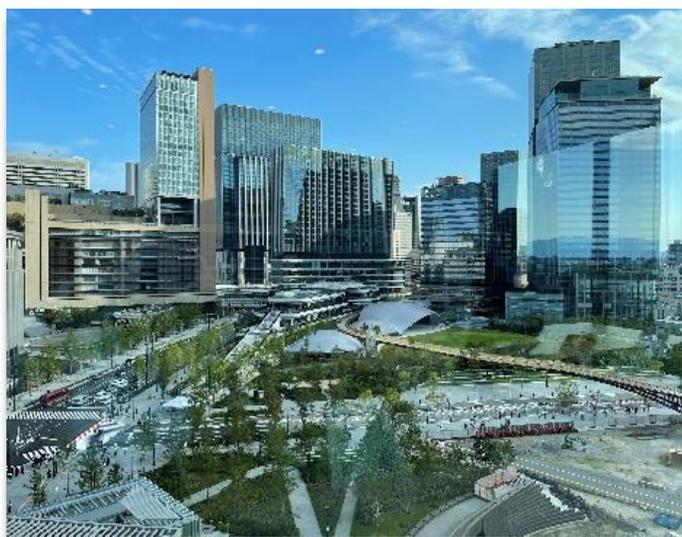
2024(令和6)年
 9月末発行

●産総研・関経連うめきたサイトのご紹介

国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、「産総研」）と公益社団法人関西経済連合会（以下、「関経連」）が共同で、うめきた2期地区開発プロジェクト「グラングリーン大阪」発のイノベーション創出を目的として、中核機能施設「JAM BASE」に「産総研・関経連うめきたサイト」を設置しました。

本拠点は、関西の交通結節点にあり、多様な関係者が集う「うめきた」において、産総研と関経連がそれぞれの特色を活かしながら、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、大学等の研究開発の相談・サポートや、各種マッチングやセミナーなどを共同して実施する場としての活用が期待されています。

関西広域連合は、関西広域産業共創プラットフォーム事業の活動拠点として、連携コーディネーター会議や各種セミナーの開催等に活用させていただく予定です。



～事務局便り～

ようやく猛暑も納まり、秋の涼しさを感じられるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。9月は、夏と秋とが日替わりで現れる端境期です。残暑と秋の涼気が混在しますので、体調管理には十分気をつけたいものです。

さて、今月もまたスポーツの世界で楽しい話題がたくさんありました。MLBでは大谷選手の活躍が毎日のように報じられています。一日も休まず、真面目にひたむきに打って、走ってを積み重ね、とうとうMLB史上初・前人未踏の54HR、59盗塁の大記録を打ち立てました。毎日の地道な努力と成果の積み重ねが累積した大記録です。日々の努力で「心・技・体」を磨きつつ、それを長期に維持するための一貫したポリシーを、強固かつ頑固に持ち続けることの重要性を再認識させられます。

当PFにはこれまで平均して2件/週のペースで様々な案件が寄せられてきておりますが、今月に入ってから3件/週へと増加してきています。PF事業にとってはありがたいことです。日々の努力の蓄積が大きな成果をもたらすという大谷選手の偉業を目の当たりにしつつ、事業開始以来の「小さな相談、大きなチャンス」という一貫したポリシーを忘れずに事務局一同、頑張っています。

センターのDX推進の取組みが表彰 されました

鳥取県産業技術センター

「第53回日本IE（インダストリアル・エンジニアリング）文献賞」受賞
受賞内容：「生産性向上に取り組むものづくり企業の支援について」

当センター研究員が投稿した「生産性向上に取り組むものづくり企業の支援について」が、人口減少している地域でロボットを活用しながら生産性向上を着実に進めている活動内容は広く製造業の参考になるとして高く評価され、日本インダストリアル・エンジニアリング協会のIE（※）文献賞（IEの普及、発展に著しく貢献する活動）を受賞しました。

この賞は、1971年の第1回からIEの発展と普及に寄与することを目的に、同協会誌「IEレビュー」掲載文献のうち優れた論文や記事を表彰している歴史ある賞です。当センターでは、DX推進による生産性向上を重点プロジェクトとして取り組んでおり、引き続き、製造現場のニーズをとらえた技術支援に取り組んでいくこととしています。



※インダストリアル・エンジニアリング（IE）

製造の作業工程、作業内容を科学的に分析する手法。

業務改善の技術のひとつであり、現在では大手自動車メーカーをはじめ、様々な企業の製造現場で活用されている。

電子・有機素材研究所
電子システムグループ
研究員 楠本 雄裕

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://tiit.or.jp/info/topics/20240712/>

事例＆成果発表会を開催します

兵庫県立工業技術センター

11/5（火）に兵庫県立工業技術センターの事例＆成果発表会を開催します。口頭発表はオンラインでもご参加いただけます。オフライン開催のポスターセッションでは、様々な分野の研究員の研究内容を発表するとともに、国際フロンティア産業メッセ（9/5～6）でご好評いただきましたデータ駆動型デザインで試作した自転車を展示します。せっかくの機会ですので、試作自転車を囲んで研究員と交流いただけると幸いです。

日時：令和6年11月5日（火）13:00～

場所：兵庫県立工業技術センター（神戸市須磨区行平町3-1-12）

費用：無料（事前申し込みが必要）



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.hyogo-kg.jp/>

電子線マイクロアナライザーを整備しました

徳島県立工業技術センター

無機、金属材料の微小部元素分析及び面分析に使用できます。

ショットキー型FE電子銃と2種のローランド円を有する5ch波長分散型検出器により高分解能かつ高感度な分析が可能です。



※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.itc.pref.tokushima.jp/kiki/kikisearch/view.php?kikiid=534>

卓上アームロボットを使ったROS2 体験講習会を開催します

（地独）大阪産業技術研究所和泉センター

大阪技術研では、小規模な自動化システムの内製の中核的な技術としてオープンソースフレームワークのROS(Robot Operating System)に着目し、研究開発や技術支援を行っております。本講習会は、小規模な自動化システムの内製に興味のある方を対象に、ROSの最新バージョンであるROS2により、卓上アームロボットを実際に制御することを通じてROS2の機能を具体的にご理解いただくことを目的としております。

なお、体験者は1名に限定させていただいております。

日時：令和6年12月4日（水）13:15～15:15

場所：（地独）大阪産業技術研究所 和泉センター

和泉市あゆみ野2-7-1

定員：1名（先着）

費用：無料

申込み先：（地独）大阪産業技術研究所 和泉センター 顧客サービス部

※お申込みは、メール（izumi-entry@orist.jp）またはFAX（0725-51-2520）でお願いします。

講習内容：卓上アームロボットを実際に動かしながらROS2の通信の仕組みについて解説します。



卓上アームロボット Dobot MG400

※詳しくは以下をご覧ください。

https://orist.jp/dl/izumi/seminar/2024/12/20241204_ar_mrobot_ROS2.pdf